

平成21年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 1 4 6 0 3      2. 研究機関名      奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名      若手研究(B)      4. 研究期間      平成21年度～平成23年度
5. 課題番号 2 1 7 0 0 0 3 3
6. 研究課題名      リスク優先型先見ドキュメントインスペクション手法の調査研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 4 2 3 2 4 9	フリガナ: モリサキ シュウジ 森崎 修司	情報科学研究科	助教

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

研究計画を提示し協力企業を募った。協力企業からのデータ、資料にもとづきインスペクションのプロセスを検討することができた。検討は設計インスペクションの現状調査（トップダウンの検討）、インスペクションの下流の作業に該当するテストでの修正工数と欠陥種別に関して現状調査を実施した（ボトムアップの検討）。トップダウンの検討からはインスペクションに参加するメンバに異なる視点を与えることによる効率化の検討ができた。ボトムアップの検討からは、不具合種別や発生原因、発生種別、発生サブシステム等、不具合種別を検討した。また、修正工数が大きくなっている不具合種別を抽出するための統計手法を検討し、実際の不具合情報に適用し結果が得られた。実際に開発に携わっているメンバの考えに反しない結果となることがわかった。比較検討のために、オープンソースプロジェクトにおいて蓄積されている不具合情報も参照した。

本研究に類似する研究テーマとして実施したソースコードインスペクションの演習セミナーを実施し、セキュリティの視点に限定した場合の指摘の正答率やインスペクション速度を計測した。その結果、観点を限定することにより、指摘の正答率をあまり下げることなくインスペクション速度を大きくすることができることがわかった。この結果もトップダウンの検討結果の1つとして加え、来年度の仮説立案の材料とする。また、同時に実施したアンケート調査の結果も先見に寄与するスキルや特徴として来年度の仮説立案の材料とするために分析を進める予定である。

10. キーワード

- (1) インスペクション      (2) レビュー      (3) 不具合修正コスト
- (4) インスペクション評価      (5)      (6)
- (7)      (8)      (裏面に続く)

11. 研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（1）件      うち査読付論文 計（1）件

著者名	論文標題				
田村晃一, 亀井靖高, 上野秀剛, 森崎修司, 松本健一	修正確認テスト規模の低減を目的としたコードレビュー手法				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
情報処理学会論文誌	有	50	2009	pp. 3074-3083	

〔学会発表〕 計（3）件      うち招待講演 計（1）件

発表者名	発表標題		
森崎 修司	レビュー効率化にむけた産学連携の取組み		
学会等名	発表年月日	発表場所	
ソフトウェアプロセス改善カンファレンス	H.21/10/6	新潟県 朱鷺メッセ	

発表者名	発表標題		
佐々木 辰也	レビュー指摘の記録における支援ツールの効果分析		
学会等名	発表年月日	発表場所	
情報処理学会研究報告 ソフトウェア工学研究会	H.21/11/6	愛知県 名古屋大学	

発表者名	発表標題		
渡邊 正隆	バグ報告の単語出現頻度に着目したチェックリスト作成の試行		
学会等名	発表年月日	発表場所	
情報処理学会研究報告 ソフトウェア工学研究会	H.22/3/19	東京都 国立情報学研究所	

〔図書〕 計（0）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--